

# 公益社団法人日本マレーシア協会

## 2019年度事業報告

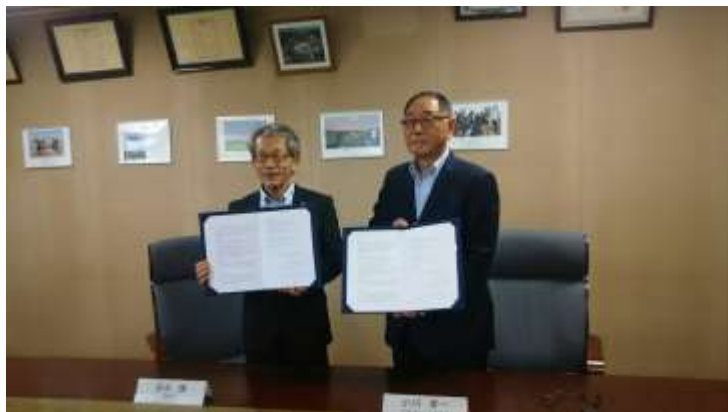


サラワク州アペン国立公園で地域の子供たちと植林活動を実施(2020年2月)

2020年4月

# 1. 親善交流活動

## ●国内での各種交流



国立研究開発法人国際農林水産業研究センターと  
連携・協力協定を締結(2019年7月)



元身元保証留学生在が新たに留学した  
息子と来訪(2019年10月)



駐日マレーシア大使を囲む新春の集い(2020年2月)



アズミン・アリ経済大臣、日マ友好議連、日マ経済協議会  
との朝食会を開催(2020年3月)

## ●インターンシップ

### 1. 日本の大学生による本協会事務所におけるインターンシップ

- ・参加学生 杏林大学3年生1名、明海大学3年生1名(2019年8月5日～9日)  
日本大学3年生2名(2019年9月2日～13日)
- ・内容 日常事務作業、外勤同行、プロジェクト企画づくり、業務報告体験等



マレーシア政府観光局へ副所長を訪問し  
観光事情について研修



本協会事務所で上東輝夫元コタキナバル総領事と  
出版企画案の打ち合わせ



## ●マレーシアで各種交流



サラワク州環境担当副大臣を表敬訪問(2019年6月)

親善使節団がクチン日本人墓地で清掃活動(2019年7月)



マレーシア国際イスラム大学へ日本語図書・教育教材等を寄贈(2019年12月)



サラワク州で両国大学生が植林(2019年8月)



クチンで柔道交流に協力(2019年12月)

## ●日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンス) (2019年度国立研究開発法人科学技術振興機構委託事業)

国立研究開発法人科学技術振興機構より受託し、マレーシアの大学生を対象とした日本国内研修プログラムを実施した。

### ●マレーシア・サラワク大学 (UNIMAS)

期 間 2019年11月18日～25日

テーマ 熱帯雨林における生物多様性の確保と森林管理

招聘者 マレーシア・サラワク大学の学生10名と教員1名

日 程 11月19日 京都大学発の株式会社バイオームで研修

11月20日 京都大学、総合地球環境学研究所で研修

11月21日 国際熱帯木材機関(ITTO)で研修

11月22日 環境省、東京大学アジア生物資源環境研究センターで研修

11月23日 日本科学未来館見学

11月24日 宇都宮大学舟入演習林で実習、大学研究室で研修、留学生との交流会に参加

11月25日 都内で研修報告会、修了式

### ●マレーシア国際イスラム大学 (IIUM)

期 間 2020年1月20日～26日

テーマ 持続可能な河川流域構築に必要な科学技術

招聘者 マレーシア・サラワク大学の学生10名と教員1名

日 程 1月20日 九州大学大学院工学研究科、福岡大学で研修

1月21日 湯布院町の地域資源活用による街づくり調査を実地研修、  
朝倉市で山田堰、朝倉三連水車、寺内ダム等の見学

1月22日 ブリジストン久留米工場、久留米大学、筑後川プロジェクトKUHONで研修

1月23日 久留米市南部浄化センタ、佐賀大学で研修

1月24日 柳川市の地域資源活用による街づくり視察、柳川掘割と街づくりコンセプトを学ぶ

1月25日 福岡で総括研修と修了式

1月26日 福岡で総括研修



マレーシア・サラワク大学(2019年11月)



マレーシア国際イスラム大学(2020年1月)



## 2. 熱帯雨林再生活動

サラワク州スリアン地区のバライ・リングン保護林、アペン国立公園、サバル国立公園、ルンドゥ地区のサンパディ保護林、ミリ地区のバカム保護林にて、植林とメンテナンス作業を実施。

サラワク州クチン湿地国立公園、クダ州ムルボック湿地保護林でマングローブ植林を実施。

### サラワク州政府と協力協定調印

サラワク州において、本協会が長期間にわたり熱帯雨林再生活動を実施している保護林地域の内、アペンとサバルの森林区が国立公園（完全保護区）へと昇格し、正式に登録されている。

2019年6月15日、サラワク州政府と「森林景観復元」プログラム協力協定を締結し、持続的な植林により、地域の環境と人々の暮らしを守る活動を、官民連携で実施していくことを改めて確認した。

関係各位のご支援へ心より感謝申し上げますと共に、森の再生には長い時間を要するため、今後とも、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



サラワク州首席大臣の立ち合いのもと  
協定書に調印



サバル森林区で  
盛大な式典が開催

### ●企業ご協賛による植林活動



(株)木下グループ「木下の森」植林プロジェクト

サラワク州で青少年が植林活動(左) クダ州でマングローブ植林を開始(右)





三菱商事(株)熱帯雨林再生プロジェクト  
サバル国立公園などで年間4万本の植林活動を実施



ダンロップホームプロダクツの森  
10周年記念植樹を実施(2019年8月)



JACリクルートメントグループ  
各国法人が募金、毎年植樹に参加  
アペン国立公園にて(2019年7月)



高砂熱学工業(株)「タカサゴの森熱帯雨林再生プログラム  
マレーシア・サラワク大学構内で植樹行事(2019年10月)  
グループ社員、大学生、地域の小学生など約240名が参加



## ●助成金による活動

マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業  
(国土緑化推進機構 緑の募金 国際緑化助成)



サラワク州クチン湿地国立公園内森林劣化地域で、地域の人々が育苗と植林作業に参加

マレーシア・サラワク州における多様化森林造成のための地域住民主体の育苗事業  
(トヨタ環境活動助成プログラム)



アペン地区の村で女性グループが果樹などの苗木を育成、男性が植林地で混植作業を実施

マレーシア・クダ州ムルボック湿地保護林における地域社会との協働による  
マングローブ林保全活動(経団連自然保護基金助成)



地域の村人と大学生らが協働し、保全活動を通じた教育プログラムづくりを推進

### 3. 情報収集・機関誌刊行活動

#### ●会報マレーシア

2020年4月発行号で通巻559号

#### ●ホームページ

[www.jma-wawasan.com](http://www.jma-wawasan.com) (日・英語)

#### ●マレーシアの書籍の邦訳書発行・配布

マレーシアの良書を邦訳し、日本で紹介する活動として、マレー諸王国時代からマレーシア結成までの諸国際条約集『Old Treaties & Documents of Malaysia』の翻訳を準備中。

また、2019年3月にマレーシア学術出版委員会、株式会社紀伊國屋書店、本協会が調印した「書籍の翻訳出版交流促進に向けた相互協力に関する覚書」に基づき、マレーシアの国立大学等による書籍の翻訳出版への協力を実施。

### 4. 講演会・講習会開催活動

#### ●事業報告セミナー&懇談会を開催(10月16日)



外務省南東アジア第二課上田課長が基調講演



海外研修に参加した大学生が報告



岡浩 次期在マレーシア日本大使(当時、左)も参加

#### ●マレー語スピーチコンテスト(12月1日)

